

文文文第116号

平成23年6月16日

社団法人 日本建築学会

会長 和田 章 様

京都市長 門川 大作

担当 文化市民局文化芸術都市推進室  
文化芸術企画課 075-366-0033



平素は京都市政に御支援、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成23年3月11日付けで頂戴しました京都会館の保存要望書につきまして、本市の見解を申し述べ、併せて今後の協力をお願い申し上げます。

京都会館の再整備に当たり、本市では去る平成23年5月23日に「京都会館再整備基本計画案」を公表いたしました。この再整備基本計画案は、市民アンケートで明らかになった、質の高い文化芸術作品の鑑賞の場、市民が文化芸術活動を発表する場としての京都会館への期待や岡崎地域の町並みを構成するシンボリックな存在であるとの意見を十分に踏まえて策定したものであり、京都会館は「岡崎地域において文化的景観に調和し、その特性を深めるものとして岡崎地域に欠かせない存在」であるとの貴学会からの御指摘にも沿ったものであると考えております。

また、再整備基本計画案においては、昭和の名建築として高い文化的価値を有する既存の建物をできる限り活かし、市民の思い出とともに未来へ引き継ぎながら、いかに施設水準の向上を図るかを検討しており、具体的には、第1ホールにつきましては、機能向上を図るため建て替えることとしておりますが、東山を望む二条通沿いの景観を構成する会議場棟や第2ホール、ピロティや中庭に至る空間構成につきましては保存をし、公共建築として必要な耐震性確保やバリアフリー等全面改修することといたしました。

なお、機能上建て替えざるを得ない第1ホールにつきましては、既存改修する部分との意匠性の調和を図り、近代建築として高い評価を得ている現施設の建物価値を未来に継承していけるよう、今後、基本設計を進めてまいりたいと考えております。

つきましては、基本設計を進めるに当たり、日本を代表するモダニズム建築である京都会館の建物価値を未来に継承していくためのデザインの在り方について検討を行うため、貴学会の御協力をいただければ幸いに存じます。